本文

官報　第四千八百五十九號　明治三十二年九月九日　土曜日　印刷局

○訓令

農商務省訓令第四十二號

國有林施業案編成規程左ノ通リ相定ム

明治三十二年九月九日　農商務大臣　曾禰荒助

林區署　林野整理支局

國有林施業案編成規程

第一章　總則

第一條　國有林ノ施業案ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ編成スヘシ但シ保安林施業案ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二條　施業案トハ森林施業ノ方式トナルヘキ各種ノ案、簿及表ヲ謂フ

第三條　施業案ハ森林ヲ法正ナル狀態ニ導キ其ノ利用ヲ永遠ニ保續スルノ目的ヲ以テ編成スヘシ

第四條　施業案ハ境界測量ヲ完了シ施業上要急ノ箇所ニシテ獨立ノ事業區ヲ設クルニ足ルヘキモノニ付編成スヘシ

第五條　施業案ノ編成ハ左ノ順序ニ依ル

一　森林調査

二　收獲豫定

三　造林豫定

四　施業案說明書ノ調製

五　林木形數表、枝條百分率表、實積係數表及材積收獲表ノ調製

六　施業案ハ十年毎ニ檢訂ヲ行フモノトス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ期限ニ達セサルモ檢訂ヲ行フコトヲ得

檢訂トハ森林ノ現況ト施業案實行ノ成績トヲ觀察シ將來ニ對スル該案ノ適否ヲ審査シテ之ヲ訂正シ又ハ改定スルコトヲ謂フ

第六條　施業案ノ檢訂ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二章　森林區劃

第七條　森林ヲ區劃シテ事業區、林班及小班ヲ設クヘシ

第八條　森林配置ノ狀況ニ依リ一小林區ヲ一箇事業區トシ若ハ數箇ノ事業區ニ區劃スヘシ但シ施業上已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ他ノ小林區ニ屬スル森林ヲ包容シテ一事業區ヲ設クルコトヲ得

一事業區ハ將來獨立ノ經濟ヲ維持シ得ヘキモノタルヲ要ス

第九條　事業區ノ名稱ハ地名其ノ番號ハ羅馬數字ヲ用ヒ一小林區ヲ通シテ順次ニ之ヲ附スヘシ

第十條　各林分ノ位置ヲ明ニシ其ノ配置ヲ整フル爲區劃線ニ依リ一事業區ノ森林ヲ若干數ニ區分シテ林班ヲ設クヘシ

各林班ノ面積ハ一事業區內ニ於テハ可成同一ナラシムルニトヲ要ス

第十一條　林班ノ大サハ一事業區ノ總面積、木材運搬ノ便否、地勢、地位、作業種、樹種及輪伐齡ヲ參酌シ左ノ標準ニ依リテ之ヲ定ムヘシ

一　平地又ハ低丘地ノ森林ニ於テハ面積二十町歩乃至三十町歩ヲ適度トシ五十町歩ヲ超過スルコトヲ得ス但シ點在スル森林ニ於テハ此ノ限ニアラス

二　山地ノ森林ニ於テハ面積五十町歩乃至百町歩ヲ適度トシ務メテ其ノ過大ナルコトヲ避クヘシ

第十二條　區劃線ハ可成天然境界（道路、河川、峯、谷等）ニ依リテ之ヲ設ケ其ノ天然境界ニ依リ難キ場合ニ限リ人工區劃線ヲ設クヘシ

第十三條　區劃線ハ主線及副線ニ分ツヘシ

平地又ハ低丘地ニ於ケル區劃線ニ在リテハ主線ハ可成伐採方向ト竝行セシメ副線ハ可成主線ニ直角ナラシムヘシ

山地ニ於ケル區劃線ニ在リテハ主線及副線ノ位置ハ主トシテ地勢ニ依ラシムヘシ

第十四條　天然區劃線ニ在リテハ防火線ニ代用スヘキ場合ヲ除クノ外伐開キヲ行ハス

人工區劃線ニ在リテハ伐開キヲ行ヒ其ノ主線ニ在リテハ幅五間副線ニ在リテハ幅二間ヲ超ユルコトヲ得ス但シ防火線ニ代用スヘキ場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

第十五條　人工區劃線ト爲ス場所ニ於テ現ニ壯齡以上ノ立木アルトキハ前條第二項ノ規定ニ拘ラス伐期ニ至ルマテ其ノ伐開キヲ猶豫シ單ニ視透線ヲ設クルコトヲ得

第十六條　林班ノ境界ニハ保存ニ耐ユヘキ標識ヲ設ケ鄰接各林班ノ番號ヲ記載シテ之ヲ標示スヘシ

第十七條　林班ノ形狀ハ平地又ハ低丘地ノ森林ニ在リテハ可成長方形ト爲シ其ノ長邊ヲシテ區劃主線ニ竝行セシムルコトヲ要ス

第 4859 号　本文

第十八條　林班ノ番號ハ亞剌比亞數字ヲ用ヒ一事業區ヲ通シテ之ヲ附スヘシ

平地又ハ低丘地ノ森林ニ於ケル番號ハ東北隅ヨリ始メ南北ノ方向ニ順ヲ追ヒ西南隅ニ終ハラシムヘシ

山地ノ森林ニ於ケル番號ハ可成前項規定ノ順序ニ依ルヘシ

第十九條　一林班中樹種、林齢、林位、地位等ニ著シキ差異アリテ彼此同時ノ更新ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テハ一林班ヲ若干數ニ區分シテ小班ヲ設クヘシ

但シ其面積ノ最小限ハ五段歩ヲ以テ標準ト爲スヘシ

施業上已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ一林班中ニ他ノ作業種ニ屬スル小班ト雖之ヲ包容セシムルコトヲ得

第二十條　喬林ニ在リテハ一林班中林齢ヲ異ニスルモ其ノ差二十年未滿ナルモノハ小班ニ區分スルコトヲ要セス

樹種混淆シ或ハ樹齢ヲ異ニシテ其ノ區域ヲ分劃シ難キ林分ハ之ヲ一小班ト爲スヘシ

第二十一條　小班ノ境界ニハ標識ヲ設クルコトヲ要セス但シ必要ト認ムルトキハ立木又ハ土壘等ニ依リ之ヲ標示スヘシ

第二十二條　小班ノ記號ハ一林班毎ニ羅馬字(a b c)ヲ用ヒ第十八條第二項及第三項ノ規定ニ準シ順次ニ之ヲ附スヘシ但シ一林班中ニ包容セラルル除地ニハ最尾ノ記號ヲ附スヘシ

第二十三條　事業區、林班及小班ノ區劃ノ設計ヲ終ハリタルトキハ左ニ掲クル境界線等ノ測量ヲ爲スヘシ

一　事業區ノ境界
二　區劃線
三　林班ノ境界
四　小班ノ境界
五　林業上ノ生産地ト林業上ノ除地(道路、河川、溜沼、溝渠、防火線、區劃線、土場、貯木場、不毛地、官舍敷地、年期貸下地、賣拂殘約地等)トノ境界
六　普通施業地ト施業制限地(地上權及地役權ノ承役地、砂防法ニ依ル砂防設備地、保安林部分、林入會地等)トノ境界
七　高低曲線

第二十四條　前條第一號乃至第三號、第五號及第六號ニ掲ケタル界線ノ測量ハ可成精密ナル測法ニ依リ第四號ニ掲ケタル界線ノ測量及第七號ニ掲ケタル高低曲線ノ測量ハ簡易ナル測法ニ依ルヘシ

第二十五條　林班、小班及除地ハ適宜ノ方法ニ依リ面積ヲ計算スヘシ但シ町ヲ單位トシ歩位マデ示スヘシ

第二十六條　面積計算ヲ終ハリタルトキハ第一號樣式ニ依リ森林面積簿ヲ調製スヘシ

第二十七條　第二十三條ノ測量ヲ終ハリタルトキハ境界圖ニ依リ基本圖ヲ調製スヘシ

第二十八條　基本圖ヲ分圖ト爲ス場合ニ於テハ適宜ノ縮尺ニ依リ別ニ全事業區ヲ通覽シ得ヘキ位置圖ヲ調製スヘシ

第三章　森林調査

第二十九條　森林調査ノ事項左ノ如シ

一　地況ノ調査
二　林況ノ調査
三　將來施業ノ見込ノ調査
四　既往ノ收入及支出ノ調査
五　參考事項ノ調査

前項第一號乃至第三號ノ調査成績ハ第二號樣式ノ森林調査簿ニ記載スヘシ

第一節　地況ノ調査

第三十條　地況ハ氣候、地勢、土地及地位ニ付調査スヘシ但シ氣候及地勢ノ概要ハ一事業區其ノ他ノ林班若クハ小班ニ付調査スヘシ

第三十一條　氣候ハ可成簡易ナル方法ニ依リ溫度、雨量、常風及暴風ノ方向竝其ノ季節ニ付調査スヘシ

第三十二條　地勢ハ全部及局部ニ區別シテ調査スヘシ

第三十三條　全部地勢ハ海面上ノ高サ、海岸ヨリノ直距竝低原、高原、丘陵、山、高山等ノ區別及其ノ狀況ニ付調査スヘシ

第三十四條　局部地勢ハ比鄰ノ狀況、方位及傾斜ニ付調査スヘシ

傾斜ハ左ノ階級ニ依ル

平坦　五度未滿
緩斜　十五度未滿
急斜　三十度未滿
險峻　三十度以上

第三十五條　土地ハ基岩ノ種類及其ノ成立時代竝土壤ノ種類及性質ニ付調査スヘシ

第三十六條　土壤ノ性質ニ關シテハ土壤ノ深淺、結合及濕度ヲ調査スヘシ

深淺ハ左ノ區別ニ依ル

最淺　一尺未滿
淺　二尺未滿
深　三尺未滿
最深　三尺以上

結合ハ堅軟鬆ノ三種ニ濕度ハ乾適濕ノ三種ニ區別ス

第三十七條　地位ハ五級ニ分チ最上級ヲ1トシ最下級ヲ5トシ氣候及土地ノ狀態略同一ナル地方ヲ通シテ之ヲ定ムヘシ但シ擇伐喬林ニ在リテハ上中下ノ三級ニ分ツコトヲ得

前項ノ地位ハ豐分一事業區毎ニ定ムルコトヲ得

第三十八條　地位ハ其ノ地ニ適當ノ樹種及作業種ニ依リ林分ノ法正ナル狀態ニ在ルトキヲ想定シテ之ヲ調査スヘシ

收獲表ヲ調製シタル場合ニ於テハ之ヲ標準トシテ地位ヲ定ムヘシ

第二節　林況ノ調査

第三十九條　林況ハ各小班ニ付樹種、作業種、疎密度、林齢、齢級、成立、材積、平均生長量及林位ヲ調査スヘシ

第四十條　一小班ニシテ二樹種以上ヲ以テ林分ヲ組成スルモノハ林積、面積又ハ本數ノ比例ニ依リ樹種混淆ノ部合ヲ調査シ十分率ヲ以テ之ヲ示ス但シ貴重樹種ヲ除クノ外混淆ノ部合十分ノ一ニ達セサルトキハ他ノ樹種ニ併算スルコトヲ得

中林ニ在リテハ上木、下木各別ニ其ノ樹種混淆ノ部合ヲ調査スヘシ

樹種ノ混淆シタルモノハ其混生ノ狀況ニ從ヒ群生、列生及點生ノ三種ニ區別スヘシ

第四十一條　作業種ハ左ノ五種ニ分ツ

一　皆伐喬林作業
二　前更喬林作業
三　擇伐喬林作業
四　矮林作業
五　中林作業

第四十二條　皆伐喬林作業ハ一作業級中ノ一區域若ハ數區域ツツヲ皆伐シ主トシテ人工播植ニ依リ更新ヲ爲ス作業ヲ謂フ

第四十三條　前更喬林作業ハ一作業級中ノ一區域若ハ數區域ツツヲ一更新期間ニ數回擇伐シ主トシテ天然下種ニ依リ更新ヲ爲ス作業ヲ謂フ

第四十四條　擇伐喬林作業ハ一回歸年毎ニ全作業級ノ熟木、被害木及生長不良木ヲ擇伐シ主トシテ天然下種ニ依リ更新ヲ爲ス作業ヲ謂フ

第四十五條　矮林作業ハ一作業級中ノ一區域若ハ數區域ツツヲ皆伐シ前芽ニ依リテ更新ヲ爲ス作業ヲ謂フ

第四十六條　中林作業ハ同一區域內ニ於テ上下二段ノ林木ヲ仕立テ上木ハ喬林作業ニ依リ下木ハ矮林作業ニ依ル作業ヲ謂フ

第四十七條　疎密度ハ林分ノ樹種、作業種及林齢ニ應シテ法正ナル樹冠ノ閉鎖ヲ標準トシテ調査シ十分率ヲ以テ之ヲ示ス但シ中林上木ノ疎密度ハ之ヲ調査スルコトヲ要セス

擇伐喬林ノ疎密度ハ疎、中、密ノ三級ニ分ツコトヲ得

貴重ナル樹木及中林ノ上木ハ一町歩ニ對スル本數ヲ調査スヘシ

第四十八條　疎密度十分ノ三未滿ナルモノハ之ヲ散生地ト稱シ全部立木ナキモノハ之ヲ未立木地ト稱ス

第四十九條　林齢ハ主林木ニ付調査スヘシ

第五十條　一小班中ノ樹齢著シク差異アルモノハ材積、胸高圓面積、面積若ハ本數ノ比例ニ依リ其ノ平均齢ヲ算出シテ林齢ト爲スヘシ

第五十一條　中林ノ上木ハ別ニ其ノ年齢ヲ調査スヘシ

前更喬林ノ更新期間ニ屬スル林分ノ老木ト幼木トノ年齢ハ之ヲ各別ニ調査スヘシ

擇伐喬林ニ於ケル林分ノ年齢ハ其ノ老幼ノ範圍ヲ調査スヘシ

第五十二條　一齢級ハ二十年ト定ム

齢級ハ羅馬數字ヲ以テ之ヲ示シI乃至VIIIノ八級ニ分チ一年乃至二十年ヲIトシ百四十一年以上ヲVIIIトス

第五十三條　前更喬林ノ更新期間ニ屬スル林分ノ老木ト幼木トノ齢級ハ之ヲ各別ニ調査スヘシ

第五十四條　中林ノ上木及擇伐喬林ニ在リテハ齢級ヲ分ツコトヲ要セス散生地ニ在リテモ亦同シ

第五十五條　每齢級ニ於ケル現在總面積ト法正面積トノ過不足ヲ檢スルカ爲第三號樣式ノ齢級表ヲ調製スヘシ

第五十六條　森林ノ成立ニ關シテハ記錄、傳說及現況ニ依リ更新及手入ノ方法、生育及被害ノ狀況竝作業上ノ沿革ヲ調査スヘシ

第五十七條　材積ハ左ノ方法ニ依リ調査スヘシ但シ既往ノ伐採材積又ハ測樹ノ成績明確ニシテ直ニ之ヲ採用シ若ハ之ニ依リテ推算スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ本條ノ調査ヲ省略スルコトヲ得

一　喬林又ハ中林上木ニシテ第一施業期前半期間ニ伐採スヘキ林木ハ每木調査又ハ標準地調査

二　輪伐齢ノ半數ヲ超ヘタル林木ハ標準地調査

三　輪伐齢ノ半數ヲ超ヘサル林木ハ收獲表ニ依リ算出シ又ハ目測或ハ比較調査

第五十八條　標準地ハ一小班內中庸ノ生長及疎密度ヲ有スル場所ニ付選定スヘシ

面積廣大ナルトキ又ハ生長若ハ疎密度ニ著シキ差異アルトキハ二箇以上ノ標準地ヲ選定スヘシ

標準地調査ノ成績ハ類似ノ林相ニシテ特ニ標準地調査ノ必要ナシト認ムル他ノ小班ニ適用スルコトヲ得

第五十九條　標準地ノ面積ハ全面積ノ百分ノ二以上百分ノ五以下トス但シ一標準地ノ面積ハ喬林ニ在リテハ一段歩以上一町歩以下矮林ニ在リテハ一畝歩以上一段歩以下トス

第六十條　標準地ノ材積ハ左ノ方法ニ基キ第四號樣式ニ依リ調査スヘシ

一　各立木ニ付輪尺ヲ以テ胸高(地上四尺三寸)直徑ヲ測定スヘシ但シ四捨五入ヲ以テ寸位ニ止ムヘシ

第 48559 号　本文

二 各直徑ニ付胸高圓面積ヲ算出スヘシ
三 標準木ノ數ハ標準地全本數ノ凡ソ百分ノ一トス
四 「ドラウト」氏法ニ依リ標準木ヲ選定シ其ノ材積ヲ測定スヘシ
五 全標準木ノ胸高圓面積ヲ以テ標準地全立木ノ胸高圓面積ヲ除シ之ニ全標準木ノ材積ヲ乘シテ標準地ノ總材積ヲ求ムヘシ
薪炭材產出ヲ目的トスル矮林ニ在リテハ標準地ノ立木ヲ皆伐シテ層積ト爲シ材積ヲ測定スルコトヲ得

第六十一條 標準木ノ材積ハ左ノ方法ニ基キ第五號樣式ニ依リ調査スヘシ
一 標準木ヲ根際ニテ伐採シ之ヲ一間若ハ二間毎ノ距離ニ區分シ其ノ各部ノ中央直徑ヲ測定シテ之カ圓面積ヲ算出シ各長サヲ乘シ之ヲ合計シテ其ノ材積トス但シ直徑ハ樹皮ヲモ包容スルモノトス
梢頭部及根際ノ擴張部ハ別ニ其ノ材積ヲ算出シテ之ヲ前項ノ材積ニ加フヘシ
二 用材タルヘキ樹木ノ枝條ニシテ測定ノ必要アリト認メタルモノ及薪炭材タルヘキ樹木ノ層積ト爲シ實積係數ヲ乘スルカ又ハ「キシロメートル」ニテ測定シテ其ノ材積ヲ求ムヘシ

第六十二條 傾斜地ニ於ケル立木ノ胸高ヲ定ムルニハ立木ノ中心ト傾斜面トノ交會點ヲ以テ其ノ基點ト爲スヘシ

第六十三條 每木調査ニ在リテハ全高ト脇高直徑トヲ測リ幹材形數ヲ用ヒテ之ヲ算出スヘシ但シ枝條ヲ測ルノ必要アルモノハ全本形數若ハ枝條百分率ヲ用フヘシ

第六十四條 樹種ノ混淆セルモノニ在リテハ各樹種ニ付材積ヲ調査スヘシ但シ施業上必要ナキトキハ各樹種ノ材積ヲ合算スルコトヲ得

第六十五條 中林ニ在リテハ上木下木トニ付前更喬林ニ在リテハ老級ト幼級トニ付各別ニ其ノ材積ヲ調査スヘシ

第六十六條 材積ノ單位ハ尺メヲ用ヒ單位未滿ノ小數ハ四捨五入スヘシ

第六十七條 平均生長量ハ現在一町歩ノ材積ヲ林齡ニテ除シ小數二位マテ示スヘシ但シ擇伐喬林ニ在リテハ平均生長量ヲ算出スルコトヲ要セス

第六十八條 各小班ノ現在材積ヲ總計シ作業級每ニ之ヲ法正蓄積量ト比較シテ其ノ過不足ヲ檢スヘシ

第六十九條 林位ニ關シテハ第三十七條ノ規定ヲ適用ス

第七十條 林位ハ其ノ林分ノ現在材積ヲ各地位ニ付相當林齡ニ於テ想定シタル法正材積ト比較シテ之ヲ定ムヘシ但シ幼林ニ在リテハ樹高生長ニ依リ之ヲ定ムヘシ
中林ノ林位ハ下木ノミニ付之ヲ調査スヘシ
收獲表ヲ調製シタル場合ニ於テハ之ヲ標準トシテ林位ヲ定ムヘシ

第七十一條 林況調査ヲ終ハリタルトキハ其ノ成績ニ依リ林相圖ヲ調製スヘシ

第七十二條 將來施業ノ見込ノ調査
一 變更又ハ增減スヘキ樹種
二 選定スヘキ作業種、輪伐齡、回歸年及更新期
三 熟期ヲ過キ及熟期ニ達シタル林木ノ伐採ノ遲速若ハ熟期ニ達セサル林木ノ伐採又ハ離伐等總テ主伐ニ關スルコト
四 間伐施行ノ區域、時期及伐採量
五 更新方法、補植、下木植附等總テ森林仕立ニ關スルコト
六 下刈、枝打、燒切等總テ手入ニ關スルコト
七 被害ノ保護ニ關スルコト
八 砂防工事、排水工事、林道築設、河川疏通、防火線設置等總テ森林土工ニ關スルコト
九 除地ノ取扱ニ關スルコト
十 其ノ他施業上必要ナルコト

第四節 既往ノ收入及支出ノ調査

第七十三條 既往ノ收入及支出ハ林區署設置以降關係諸帳簿ニ付左ノ區別ニ依リ調査スヘシ
甲 收入
一 主產物(伐採面積、材積及金額)
二 副產物
三 貸地
乙 支出
一 管理費
二 事業費
イ 播植費
ロ 手入費
ハ 土工費
ニ 官行伐木造材及運材費

第七十四條 參考事項ニ付テハ記錄、傳說及現況ニ依リ左ニ掲クル事項ヲ調査スヘシ
甲 森林行政ニ關スルコト
一 繼新前ノ林制
二 所有及所管上ノ沿革
三 森林及治水ニ關スル法律施行ノ影響
四 境界及接續地ノ狀況
五 森林ニ對スル民情及地元人民山稼ノ狀況

乙 森林保護ニ關スルコト
一 森林犯罪其ノ他ノ被害
二 社寺保管林
三 市町村委托林
丙 森林經濟ニ關スルコト
一 地方木材ノ需用供給
二 交通ニ關スル狀況
三 木材代用品ノ影響
四 農業鑛業工業等トノ關係
五 主副產物販賣上ノ慣習特ニ地元人民ニ特賣ノ慣行
六 主副產物ノ價格
七 勞力者ノ需用供給賃金及技能
八 他ノ林業トノ關係
丁 森林施業ニ關スルコト
一 施業ノ沿革
二 官行事業
戊 施業制限ニ關スルコト
一 地上權及地役權ノ承役地
二 砂防法ニ依ル砂防設備地
三 保安林
四 部分林
五 入會地

第四章 收獲豫定

第七十五條 收獲豫定ノ事項左ノ如シ
一 作業級及伐採列區ノ設置
二 輪伐齡回歸年及更新期ノ選定
三 施業期編入
四 伐採量ノ算定
五 伐採順序ノ確定
六 施業基案ノ編成
七 年伐案ノ編成

第一節 作業級及伐採列區ノ設置

第七十六條 一事業區中ノ森林ニシテ同一ノ作業種ニ屬シ同一ノ輪伐齡ニ依リテ施業シ獨立ノ伐採順序ヲ設クルコトヲ得ヘキ集團ヲ作業級ト謂フ
現在ノ林況ニ在リテ作業種ヲ異ニスルモ將來之ヲ變更スルノ必要アルモノハ之ヲ變更スヘキ見込ノ作業級ニ編入スヘシ

第七十七條 一作業級ノ面積ハ遠年作業ヲ施シ得ヘキ大サ以上タルコトヲ要ス但シ一事業區中獨立ノ作業級ヲ設クルニ足ラサル小面積ノモノト雖別四ノ作業種ヲ選定スヘキ特別ノ事由アルトキハ之ヲ隔年作業林ト爲スコトヲ得

第七十八條 作業級ノ番號ハ一事業區ヲ通シテ左ニ掲クル作業種ノ順序ニ依リ之ヲ附シ一作業種中ニ數箇ノ作業級アル場合ニ於テハ其記號ハ(イロハ)ヲ以テ輪伐齡ノ長キモノヨリ短キモノニ順次之ヲ附スヘシ
第一 皆伐喬林作業
第二 前更喬林作業
第三 擇伐喬林作業
第四 矮林作業
第五 中林作業
各作業種中缺クルモノアルトキハ作業級ノ番號ハ順次之ヲ繰上クヘシ
隔年作業林ノ記號ハ本條第一項ノ規定ニ拘ラス各作業種中ノ最尾ニ置クヘシ

第七十九條 一作業級中ニ於テ左ニ掲クル事項ヲ目的トシ一林班若ハ二林班以上ヲ以テ伐採列區ヲ設クヘシ
一 齡級配置ヲ整理シ將來ノ伐採順序ヲ規正スルコト
二 伐採ノ緩急ヲ計ルコト
三 風害、蟲害及火災ヲ豫防スルコト
四 木材ノ供給ヲ普及セシムルコト

第八十條 伐採列區ノ番號ハ一事業區ヲ通シ羅馬數字ヲ用ヒテ之ヲ附スヘシ

第二節 輪伐齡回歸年及更新期ノ選定

第八十一條 用材產出ヲ目的トスル森林ノ輪伐齡ハ林利(各年ノ總收入ヨリ各年ノ造林費及管理費ヲ差引キタルモノ)ノ最大ナル時期ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ但シ管理費ハ當分之ヲ算入セサルコトヲ得

第八十二條 薪炭材產出ヲ目的トスル森林ノ輪伐齡ハ材積收獲ノ最大ナル時期ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

第八十三條 特種ノ用材及薪炭材又ハ巨材ヲ產出スル目的ノ森林ニ在リテハ之ニ適應スル輪伐齡ヲ選定スルコトヲ得

第八十四條 喬林ノ輪伐齡ハ十ノ倍數トシ矮林ノ輪伐齡ハ五ノ倍數トスヘシ

第八十五條 中林上木ノ輪伐齡ハ下木輪伐齡ノ倍數トスヘシ

第八十六條 擇伐喬林ノ回歸年ハ其ノ輪伐齡ノ整分トスヘシ

第八十七條 前更喬林ノ更新期ハ二十年以內トスヘシ

第三節 施業期編入

第八十八條 一應業期ハ二十年トシ第一施業期ハ更ニ前後兩半期ニ分ツヘシ

第八十九條 施業期ノ番號ハ第一期ヨリ順次ニ羅馬數字ヲ以テ之ヲ附スヘシ
第一施業期前半期ハ亞剌比亞數字1後半期ハ2ヲ番號ノ右下部ニ附記スヘシ

第 4859 号 本文

第九十條　各伐採列區中ノ林班ヲ適當ノ施業期ニ編入シ第二輪伐期ニ於ケル齢級配置ノ整理ヲ計ルヘシ但シ施業上已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ一林班ヲ二施業期以上ニ編入スルコトヲ得

第九十一條　左ノ各號ニ該當スルモノハ可成第一施業期前半期ニ編入スヘシ

一　既ニ輪伐齢ニ達シタルモノ及今後十年間ニ輪伐齢ニ達スヘキモノ

二　今後十年間ニ輪伐齢ニ達セサルモ林相及齢級配置ヲ整理スル爲伐採スヘキモノ

三　區劃線及防火線設置、防風豫備其ノ他施業上已ムコトヲ得ス伐採スヘキモノ

第九十二條　第一施業期後半期ニ編入スヘキモノハ其ノ期間ノ林況ヲ豫想シテ之ヲ定ムヘシ

第九十三條　伐採順序ヲ整理スル爲第一施業期ノ始ニ於テ伐採シ直ニ造林シ得ヘキモノハ再ヒ第一輪伐期ノ最終施業期ニ編入スヘシ

第九十四條　一作業級中ノ散生地若ハ未立木地ニシテ矮林ニ在リテ五年以内喬林ニ在リテ十年以内ニ造林シ得ヘキモノハ第一輪伐期ノ最終施業期ニ編入スヘシ

第九十五條　一作業級中樹種變更ノ爲造林ニ重キヲ置クモノニ在リテハ造林豫定ニ一致スヘキ施業期ニ編入スヘシ

第四節　伐採量ノ算定

第九十六條　伐採量ヲ定ムルニハ主トシテ面積ヲ標準トシ各施業期ニ略均一ノ伐採面積ヲ分配スヘシ

第一施業期ニ屬スル分ハ更ニ前後兩半期ニ分配シ第二施業期以後ニ屬スル分ハ各期ニ分配スルコトヲ要セス

第九十七條　第一施業期ノ各半期ニ屬スル面積ノ標準ハ皆伐喬林及前更喬林ニ在リテハ總面積ヲ輪伐齢ニテ除シタル年伐面ノ十倍擇伐喬林ニ在リテハ立木地合計面積ヲ回歸年ニテ除シタル商ノ十倍又中林ノ下木及矮林ニ在リテハ總面積ヲ輪伐齢ニテ除シタル年伐面ノ十倍又ハ五倍トス

第九十八條　喬林ニ於テ第一施業期前後兩半期ニ編入セル合計面積前條ノ標準面積ニ比シ過不足アルトキハ現在齢級面積ト法正齢級面積トヲ對照シ老幼木ノ割合ヲ參酌シ適當ノ林分ヲ第二施業期以後ニ繰下ケ又ハ第二施業期以後ヨリ繰上クヘシ

前項ノ繰上ケ及繰下ケハ老級木多キ場合ニ於テハ標準面積ノ百分ノ二十ヨリ多カラサル面積ヲ增加シ幼級木多キ場合ニ於テハ同一部合ノ面積ヲ減少スルコトヲ得但シ第九十五條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

第九十九條　第一施業期前半期ノ伐採量ハ主ニ間伐トニ區別スヘシ

第百條　更新ヲ要スル場合ニ於ケル伐採ヨリ生スル收獲、防風豫備ノ爲ニ行フ離伐ノ收獲及地種組替ノ爲ニ生スル收獲ヲ主伐收獲ト謂フ

第百一條　更新ヲ要セサル場合ニ於ケル伐採ヨリ生スル主林木ノ收獲及副林木(下層木、生長不良木等)ノ伐採ヨリ生スル收獲ヲ間伐收獲ト謂フ

第百二條　第一施業期前半期ニ於テハ現在林齢ニ五年ヲ加ヘタルモノ後半期ニ於テハ現在林齢ニ十五年(輪伐齢十五年ノ森林ニ在リテハ十二年半)ヲ加ヘタルモノヲ以テ平均伐期齢トシ主伐材積ヲ算出スヘシ

第二施業期以後ニ於テハ平均伐期齢及材積ヲ算出スルコトヲ要セス

第百三條　擇伐喬林ニ在リテハ法正ノ狀態ヲ標準トシ老幼ノ配置並疎密度ヲ適當ナラシムルヲ目的トシ前後兩半期ニ伐採スヘキ主伐材積ヲ算出スヘシ

中林ノ上木ニ在リテハ法正ノ狀態ヲ標準トシテ前項ノ如ク主伐材積ヲ算出スヘシ

第百四條　間伐ニ在リテハ其ノ伐採區域ノ全面積及材積ヲ算出スヘシ

第百五條　第一施業期ニ於テ伐採スヘキ散生地ニ在リテハ其ノ材積ノミヲ平分スヘシ

第百六條　一作業級ノ平均林齢ニシテ未タ輪伐齢ノ半ニ達セサルトキハ其ノ達スルマテ主伐ヲ行ハサルモノトス

第五節　伐採順序ノ確定

第百七條　各伐採列區ニ於テハ矮林及中林ハ十年以内、喬林ハ二十年以内ノ隔年作業ヲ行フモノトス

第百八條　各伐採列區内ニ於ケル伐採順序ハ第七十九條ノ規定ニ依ルノ外造林及運材ノ便ヲ計リ之ヲ定ムヘシ

第百九條　各伐採列區ニ於テハ暴風ノ方向ニ反對シ其ノ風下ヨリ伐採ヲ行フモノトス

第百十條　豫定區域ノ立木伐採ノ爲其ノ鄰接區域ノ立木ニ風害ヲ及ホスノ虞アリト思料スルトキハ一施業期或ハ半施業期前ニ於テ適宜ノ廣サニ離伐ヲ行フモノトス

第六節　施業基案ノ編成

第百十一條　施業基案ハ一事業區毎ニ第七十六條乃至第百十條ノ調査ニ基キ第六號樣式ヲ用ヒ左ノ記載法ニ依リ之ヲ編成スヘシ

一　一事業區ニシテ二箇以上ノ作業種アルトキハ第七十八條ニ規定スル順序ニ依リテ記入シ作業級毎ニ收獲ヲ豫定シ最終ニ至リ其ノ總計ヲ附スヘシ

二　本案第一行ニハ當該作業級ノ林種、作業種、單純混淆ノ別及輪伐齢ヲ掲ケ前更作業ニ在リテハ輪伐齢ノ次ニ更新期ノ年數擇伐作業ニ在リテハ輪伐齢ノ前ニ回歸年ヲ掲ケ中林作業ニ在リテハ上木及下木ニ付二段ニ

三　面積ハ森林面積簿ヨリ轉載シ四捨五入ヲ以テ單位以下二位ニ止ムヘシ

四　皆伐喬林、前更喬林、矮林及中林ニ在リテハ第一施業期前半期面積合計ノ次行ニ年伐面(全面積ヲ輪伐齢ニテ除シタル商)及其ノ十倍ノ面積擇伐喬林ニ在リテハ回歸年ヲ以テ立木地合計面積ヲ除シタル商竝其ノ十倍ノ面積ヲ記入スヘシ

五　地位ハ第三十七條及第三十八條ノ規定ニ依リ定メタル等級ヲ記入シ其ノ摘要欄ニハ第三十三條乃至第三十六條ノ規定ニ依リ調査シタルモノヲ記載スヘシ

六　樹種名ハ片假名ヲ用ヒ第四十條ノ規定ニ依リ調査シタル混淆部合ヲ記入スヘシ

中林ニ在リテハ上木ト下木トヲ二段ニ分記スヘシ

七　蹠密度ハ第四十七條及第四十八條ノ規定ニ依リ調査シタルモノヲ記入シ一町歩ニ對スル立木本數ヲ記入シタルトキハ之ニ括弧ヲ附スヘシ

八　林位ハ第六十九條及第七十條ノ規定ニ依リ定メタル等級ヲ記入スヘシ

九　林木摘要欄ニハ生長及混淆ノ狀況更新ノ方法等ヲ簡明ニ記載スヘシ

十　林齢、材積及平均生長ハ第四十九條乃至第五十一條及第五十七條乃至第六十七條ノ規定ニ依リ調査シタルモノヲ記入スヘシ

十一　將來施業要略欄ニハ今後十年間ニ於ケル伐採及造林ニ關シ施業上ノ要件ヲ簡明ニ記載スヘシ

十二　伐採種欄ニハ主伐ニ在リテハ豫備伐、下種伐、受光伐、殿伐、皆伐、離伐等間伐ニ在リテハ除伐、洗伐等ノ區別ヲ記載スヘシ

十三　平均伐期齢ハ第百二條ノ規定ニ依リ調査シタルモノヲ記入スヘシ

十四　最近連年生長量ハ既往五年間ニ於ケル連年生長量ヲ平均シタルモノヲ掲クヘシ但シ矮林及中林下木ニ付テハ第六十七條ノ規定ニヨリ調査シタル平均生長量ヲ記入スヘシ

既ニ輪伐齢ヲ過キタルモノ及擇伐喬林ニ付テハ最近連年生長量ヲ記入スルコトヲ要セス

十五　各林班編入施業期欄ニハ第九十條乃至第九十五條ノ規定ニ依リ定メタル施業期ヲ記入スヘシ

十六　收獲豫定欄中主伐面積ノ部ニハ將來施業要略欄ニ記載セル事項ヲ參酌シ相當林分ヲ編入シ間伐面積ノ部ニハ前同欄ノ記載スル所ニ依リ間伐區域ノ全面積ヲ記入スヘシ

十七　第一施業期前後兩半期ニ編入スヘキ各合計面積ハ第九十七條ノ規定ニ依ルヘシ

十八　第九十八條ノ規定ニ依リ繰上ケ又ハ繰下ケヲ爲シタルトキハ原面積ニ赤色消線ヲ施シ編入セシ欄ニ向ヒテ箭形ヲ記スヘシ其ノ幾部ヲ送リタルトキハ殘量ヲ其ノ上位ニ書スヘシ

十九　第一施業期ノ前半期材積欄ニハ第九十八條ノ規定ニ依リ確定シタル林分ノ平均伐期齢ニ依リ算出セル材積ヲ記入スヘシ但シ既ニ輪伐齢ヲ過キタルモノ及擇伐喬林ニ在リテハ直ニ現在材積ヲ記入スヘシ

中林ニ在リテハ上木及下木ニ付其ノ材積ヲ二段ニ記入シ其ノ下木ニ在リテハ確定面積中ノ全材積ヲ記入スヘシ

二十　第二施業期以後ハ各施業期ニ分記セス面積ノミヲ一欄ニ記入スヘシ

二十一　備考欄ニハ第九十一條ノ規定ニ依リ編入シタル理由第九十八條ノ規定ニ依リ繰上ケ又ハ繰下ケタル理由其ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第七節　年伐案ノ編成

第百十二條　年伐案ハ施業基案ニ基キ施業上ノ緩急ト木材市場ノ狀況トヲ計リ連年ノ伐採箇所、面積及材積ヲ定メ第七號樣式ヲ用ヒ左ノ記載法ニ依リ之ヲ編成スヘシ

一　本案左面第一行ニハ施業基案第一施業期前半期所定ノ十分一額ヲ記入シ次ニ本條ノ規定ニ依リ定メタル初年ノ箇所、面積及材積ヲ記入シ右面ニ其ノ實行ヲ記入スヘシ

初年度ノ終リニハ計ヲ附シ直ニ次年度ノ豫定ヲ記入スルコト前項ノ如クスヘシ

二　豫定外收獲ハ第一施業期ニ屬スルモノト第二施業期以後ニ屬スルモノトヲ區別スヘシ右面實行中豫定外ノ分ニ對シテハ第八號樣式ニ依リ豫定外主伐實行細別簿ヲ調製スヘシ

三　伐採種欄ニハ施業基案ノ記載法ニ準シ記入スヘシ

四　小班ノ全部又ハ一部ノ伐採ハ(全或ハ內)欄ニ(全)(內)又ハ(殘)ヲ記入スヘシ

五　本案ニ粗朶、根株又ハ幹材ト共ニ積算セサル枝條等ヲ掲クルノ必要アルトキハ備考ニ其ノ數量ヲ記入スヘシ

六　左面備考欄ニハ伐採ノ方向、緩急竝施業基案豫定量ニ對シ差異ヲ生シタル理由其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ洗伐及除伐ニ在リテハ伐採區域內ノ材積ニ對スル百分率ヲ記入スヘシ但シ百分率ヲ示スノ必要ナキ場合ニ於テハ本數ヲ記入スルモ妨ナシ

右面備考欄ニハ豫定ト實行トノ比較上增減ヲ生シタル理由ヲ記載スヘシ

第百十三條　年伐面積ハ可成施業基案第一施業期前半期所定十分一額ニ一致セシムヘシ但シ施業又ハ市場ノ狀況ニ依リ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ百分ノ二十以內增減スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前半期ノ滿了スルマテニ漸次其ノ增減ヲ平均セシムヘシ

第百十四條　本案右面ノ實行ニ基キ照査簿ヲ調製スヘシ

照査簿ハ第九號樣式ノ主伐照査簿及第十號樣式ノ間伐照査簿ノ二種トス

第百十五條　主伐照査簿實行欄ニ於テハ豫定內外ヲ二段ニ記入シ上段ヲ豫定內トシ下段ヲ豫定外トス但シ第二施業期以後ノ林分ニ屬スル豫定外ノ分ハ總括シテ最尾ニ掲クヘシ

第五章　造林豫定

第百十六條　造林豫定ノ事項左ノ如シ

一　造林基案ノ編成

第 4859 号 本文

二　連年造林案ノ編成

第一節　造林基案ノ編成

第百十七條　造林基案ハ施業基案ニ基キ一事業區毎ニ第一施業期前半期ニ對シ第十一號樣式ヲ用ヒ左ノ記載法ニ依リ之ヲ編成スヘシ但シ施業基案ヲ編成セサル場合ニ於テハ森林調査ノ成績ニ依ルヘシ

一　造林面積欄更新ノ部ニハ前期ノ最終年度ニ伐採セル面積及施業基案ニ依リ本期ニ更新スヘキ面積ヲ記入スヘシ但シ本期ノ最終年度ニ伐採スヘキ面積ハ之ヲ除クヘシ

同欄補植ノ部ニハ補植スヘキ區域ノ累計面積ヲ記入スヘシ

同欄手入ノ部ニハ手入ヲ爲ス年數ニ相當スル累計面積ヲ記入スヘシ但シ新植地ノ手入ハ本期ノ中央ニ於テ新植スルモノト看做シテ其ノ面積ノ累計ヲ記入スヘシ

二　摘要欄ニハ一町歩ニ對スル播種量若ハ苗木本數ヲ記入スヘシ

三　防火線欄ニハ防火線ノ幅及延長間數ヲ記入スヘシ

四　備考欄ニハ造林時期ノ緩急樹種選定ノ理由、造林ノ方法、造林費ノ概定額其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第百十八條　造林基案ハ施業基案既成ノ森林及施業基案ヲ編成セサル散生地又ハ未立木地ニ付之ヲ編成スルモノトス

第百十九條　廣大ナル未立木地ノ造林ハ將來一箇以上ノ作業級トナスノ目的ヲ以テ之ヲ設計スヘシ

第百二十條　林地保護ノ設備ニ付テハ施業上必要ナルトキハ砂防植栽又ハ排水工事ヲ爲スヘシ

第二節　連年造林案ノ編成

第百二十一條　連年造林案ハ造林基案ニ基キ第十二號樣式ヲ用ヒ左ノ記載法ニ依リ之ヲ編成スヘシ

一　本案左面第一行ニハ造林基案ニ豫定セル第一施業期前半期總額ヲ掲ケ次ニ連年豫定セル箇所、數量、面積等ヲ記入シ右面ニ其實行ヲ記入スヘシ

二　小班ノ全部又ハ一部ノ造林ハ（全或ハ內）欄內ニ（全）（內）又ハ（穩）ヲ記入スヘシ

三　左面備考欄ニハ更新及手入ノ方法、刈拂及補植ノ回數、防火線ノ設置法ヲ記載スヘシ

右面備考欄ニハ實行ニ付テノ備考ヲ記載スヘシ

第百二十二條　本案ノ播種、新植、補植及手入ノ實行ニ關シテハ第十三號樣式ノ造林照査簿ヲ調製スヘシ

第六章　施業案說明書ノ調製

第百二十三條　施業案說明書ハ一事業區毎ニ左ノ各項ニ付記述スヘシ

第一　總論

第二　地況

第三　既往ノ收入及支出

第四　參考事項

第五　森林區劃

第六　事業區ノ總面積、林班數、林班ノ各面積竝區劃設計ノ理由

一　林班ト伐採列區トノ關係

二　小班ノ數及其平均面積

三　將來ノ施業見込

第七　將來ノ收支見込

第八　收獲豫定ノ方法及其ノ量

第九　造林豫定ノ方法、造林面積及造林費概定額

第十　施業案編成ノ功程及經費

第十一　其ノ他必要ナル事項

第十二　結論

第十三　施業案說明書ニハ森林ノ位置ヲ明ニシ且行政區劃及地形ヲ略知シ得ヘキ地圖ヲ添附スヘシ

第七章　林木形數表、枝條百分率表、實積係數表及材積收獲表ノ調製

第百二十四條　標準地調査ノ結果其ノ他隨時ノ實驗ニ依リ可成多數ノ材料ヲ蒐集シテ林木形數表、枝條百分率表、實積係數表及材積收獲表ヲ調製スヘシ

第百二十五條　林木形數表ハ一事業區毎ニ第十四號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第百二十六條　林木形數ハ幹材形數ト全木形數トニ區別スヘシ

幹材形數ハ幹材ノミニ付全木形數ハ幹材及枝材ノ合計ニ付算出スルモノトス

第百二十七條　枝條百分率表ハ一事業區毎ニ第十五號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第百二十八條　實積係數表ハ一事業區毎ニ左ノ階級ニ分チ第十六號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

一級　元口直徑五寸以上ニシテ屈曲少ナク枝節ナキモノ

二級　元口直徑五寸以上ニシテ屈曲及枝節アルモノ

三級　元口直徑二寸五分以上五寸未滿ニシテ屈曲及枝節少ナキモノ

四級　元口直徑二寸五分以上ニシテ屈曲及枝節多キモノ及元口直徑一寸以上二寸五分未滿ニシテ枝節少ナキモノ

五級　元口直徑一寸以上二寸五分未滿ニシテ枝節多キモノ

六級　元口直徑一寸未滿ノモノ

前項係數ト共ニ一棚ノ材積及重量ヲ算出シ表中ニ記入スヘシ

第百二十九條　材積收獲表ハ氣候及土地ノ狀況略同一ナル地方ヲ通シ第十七號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第百三十條　材積收獲表ヲ調製スルニハ主要ノ單純林ニ付可成各齡級及各地位ニ於テ調査シタル材料ヲ用フヘシ

第八章　雜則

第百三十一條　巨材ヲ仕立ツルニハ中林又ハ中林ニアラサル二段以上ノ林形ヲ有スル作業ニ依ルヘシ

第百三十二條　中林ニアラサル二段以上ノ林形ヲ有スル作業ノ森林ニ付テハ輪伐齡ニ關スル規定ヲ除クノ外中林ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十三條　前更喬林ニアラスシテ老幼ノ二級ニ屬スル林木ヲ有スル林分ニ付テハ前更喬林ニ關スル規定ヲ準用ス

第百三十四條　一事業區ニシテ現在未立木地又ハ散生地多ク全面積ヲ通シ伐採ノ事業ヲ行フ能ハサルモノニ在リテハ施業基案ヲ編成スルコトヲ要セス

第百三十五條　當該官廳ニハ一事業區毎ニ施業沿革史ヲ備置キ口取ヲ設ケ施業案實行ノ結果ヲ詳記シ及施業案說明書記載ノ事項ニ關シ訂正又ハ追補ヲ要スルトキハ之ヲ詳記シ且當該官吏ノ意見ヲ附記シ置クヘシ

第百三十六條　施業案ハ曲尺ニテ竪一尺三寸橫二尺ノ厚質礬水引美濃紙若ハ之ニ類似ノ料紙ヲ以テ中央ニ一寸幅ノ綴代ヲ明ケ之ヲ編綴スヘシ但シ第二號乃至第五號及第十四號乃至第十七號樣式ノ簿及表ハ本條ニ規定スル大サノ凡二分ノ一ヲ標準ト爲スヘシ

第百三十七條　圖面ハ別ニ定ムル所ノ森林圖式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第百三十八條　一事業區ノ施業案ヲ編成シタルトキハ左記ノ案簿、表、附屬書類及圖面ヲ本省ニ進達スヘシ

一　面積簿

二　森林調査簿（標準地材積調査表及標準木材積調査表共）

三　齡級表

四　施業基案

五　造林基案

六　施業案說明書及附屬地圖

七　基本圖

八　林相圖

九　位置圖

左記ノ諸表ヲ調製シタルトキハ其都度之ヲ本省ニ進達スヘシ但シ調製ノ用ニ供シタル材料ハ總テ之ヲ添附スヘシ

一　林木形數表

二　枝條百分率表

三　實積係數表

四　材積收獲表

第百三十九條　部分林ノ施業案ハ本規程ニ準シ編成スルコトヲ得

附　則

第百四十條　本規程ハ明治三十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十四年本省訓令第十七號ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第百四十一條　本規程施行前認可ヲ得テ實施セル施業案ニ關シテハ其檢訂期ニ至ルマテ第百十二條乃至第百二十二條及第百三十五條ノ規定ノミヲ適用ス

第一號樣式

區　林　大　何

區　林　小　何

區　業　事　〃　何

簿　積　面　林　森

明治　年　何　月

調製　官　何　某

備考

摘要

郡（市）	村（町）	大字	字	小班	林班	除地面積	面積	地積	內訳	入會分	林地保安砂防設備地	制限地	施業基案	積	面積	施業基案	立木地	未立木地	散生地	計
						計	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町

ニシ同曾下以下以ヘムムセシ冠ヲ號番其チ以ヲ字數馬羅ハニ區業事

第 4859 号　本文

第二號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區

森林調査簿

明治何年何月

製調某何官何

將來施業ノ見込											
樹種	作業種	輪伐齡	更新期	伐採期	主伐	間伐	摘要	造林	仕立	手入	保護	工事	除地ノ取扱	其他	備考

氣候 溫度 最高……度 最低……度 雨量……粍 常風ノ方向…… 暴風ノ方向…… 暴風ノ季節……

區	郡(市)	村(町)	大字	小林班	面積	地況 地勢 全部	地況 地勢 局部	地況 土地	林況 樹種	林況 混淆ノ狀況	林況 疎密度	林況 林齡	林況 林級	林況 林位	林況 作業種及成立	林況 材積 每町	林況 材積 總	林況 材積調査ノ方法	林況 平均生長量	摘要

第三號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區

齡級表

明治何年何月

製調某何官何

第四號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
標準地材積調査表

明治何年何月

製調某何官何

字	林班	小班	施業面積 町	齡級面積 I 町	II 町	III 町	IV 町	V 町	VI 町	VII 町	VIII 町	散生地面積 町	未立木地面積 町	備考

字名……林班……小班……標準地番號……標準地測定年月日……樹種……標準地ノ全大數……　樹齡……樹齡木界間係數……

標準地立木 調査番號 寸	調數														本數	圓面積 平方寸	伐採立木ヘ ノ標準木和 計算上	四捨五入	伐採標準木 番號	調高直徑 寸	圓面積 平方寸	樹齡	樹高 間	材積 枠材 尺ノ	材積 枝材 尺ノ	材積 合計 尺ノ	備考

第4859号 本文

第五號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區

標準木材積調査表

明治何年何月

何官何某調製

林班 小班	標準地番號 標準木番號 樹種 胸高直徑(平均) 樹齡 樹高 幹材形數 全木形數	長サ間	直徑 縱分	直徑 横分	直徑 平均分	圓面積 平方尺
林班 小班	標準地番號 標準木番號 樹種 胸高直徑(平均) 樹齡 樹高 幹材形數 全木形數	長サ間	直徑 縱分	直徑 横分	直徑 平均分	圓面積 平方尺
林班 小班	標準地番號 標準木番號 樹種 胸高直徑(平均) 樹齡 樹高 幹材形數 全木形數	長サ間	直徑 縱分	直徑 横分	直徑 平均分	圓面積 平方尺

第六號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
施業基案

明治何年何月

何官何某調製

林班 小班	伐採種	平均伐明齡	最近過年生長量	各林班編入施業期	收獲豫定 I1 自明治三十年至明治三十九年 主伐 面積	材積	間伐 面積	材積	I2 自明治四十年至明治四十九年 主伐 面積	材積	II−VIII 主伐 面積	備考
					町	尺〆	町	尺〆	町	尺〆	町	

第七號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
自明治年至明治年
年伐案

何小林區署

郡(市)	村(町)	大字	字	林小班	面積 町	林地位	地摘要	林木 樹種及混淆間合	疎密度	林位	摘要	林齡	材積 毎町 尺〆	材積 總 尺〆	平均生長量 尺〆	伐採	造林

豫定

國	郡(市)	村(町)	大字	字	作業種	林小班	全或内	主伐 伐採種	主伐 面積 町	主伐 材積 尺〆	間伐 伐採種	間伐 面積 町	間伐 材積 尺〆	材積計 尺〆	備考

實行

作業種	林小班	主伐 伐採種	主伐 面積 町	主伐 材積 尺〆	間伐 伐採種	間伐 面積 町	間伐 材積 尺〆	材積計 尺〆	備考

第 4859 号 本文

第八號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
自明治　年至明治　年
年伐案附錄
豫定外主伐實行細別簿

明治　年		明治　年		明治　年		明治　年		明治　年		備考
面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	

何小林區署

第九號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
自明治　年至明治　年
主伐照査簿

郡 (市)	村 (町)	大字	小林班	明治　年		明治　年		明治　年		明治　年		明治　年		明治　年	
				面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ

何小林區署

國	郡 (市)	村 (町)	大字	字	保護區	小林班	豫定 1₁ 伐採種	豫定 1₁ 面積 町	豫定 1₁ 材積 尺ノ	豫定 1₂ 伐採種	豫定 1₂ 面積 町	豫定 1₂ 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 明治　年 面積 町	實行 明治　年 材積 尺ノ	實行 計 面積 町	實行 計 材積 尺ノ	備考

第十號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
自明治　年至明治　年
間伐照査簿

明治　年		明治　年		明治　年		明治　年		明治　年		明治　年		計	
面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ	面積 町	材積 尺ノ

何小林區署

特 4859 号 本文

第十一號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
造林基案

明治何年何月
何官何某調製

國	郡(市)	村(町)	大字	小林班	豫定 第一期 面積	豫定 第一期 材積	實 明治年 面積	實 明治年 材積	實 明治年 面積	實 明治年 材積	實 明治年 面積	實 明治年 材積	實 明治年 面積	實 明治年 材積
					町	尺	町	尺	町	尺	町	尺	町	尺

國	郡(市)	村(町)	大字	小林班	面積	樹種	造林面積 新植 未立木地	造林面積 更新	造林面積 補植	造林面積 手入	數量 播種	數量 新植	數量 補植	摘要	防火線 固定	防火線 臨時	備考
					町		町	町	町	町	升	本	本				

第十二號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
自明治　年至明治　年
造林案

何小林區署

國	郡(市)	村(町)	大字	小林班	全或一部	樹種	面積	豫定 面積 未立木地	豫定 面積 更新	豫定 面積 補植	豫定 面積 手入	豫定 數量 播種	豫定 數量 新植	豫定 數量 補植	豫定 摘要	豫定 防火線 固定	豫定 防火線 臨時	豫定 備考	實行 小林班	實行 全或一部	實行 面積	實行 樹種	實行 面積 未立木地	實行 面積 更新	實行 面積 補植	實行 面積 手入	實行 摘要	實行 數量 播種	實行 數量 新植	實行 數量 補植	實行 防火線 固定	實行 防火線 臨時	實行 備考
							町	町	町	町	町	升	本	本							町		町	町	町	町		升	本	本			

第十三號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區
自明治　年至明治　年
造林照査簿

何小林區署

特 485969 号 本文

大字	小字	造林	豫定 播種町	豫定 新植町	豫定 補植町	豫定 手入町	實行 明治年 播種町	實行 明治年 新植町	實行 明治年 補植町	實行 明治年 手入町	實行 明治年 播種町	實行 明治年 新植町	實行 明治年 補植町	實行 明治年 手入町	實行 明治年 播種町	實行 明治年 新植町	實行 明治年 補植町	實行 明治年 手入町	實行 明治年 播種町	實行 明治年 新植町	實行 明治年 補植町	實行 明治年 手入町	實行 明治年 播種町	實行 明治年 新植町	實行 明治年 補植町	實行 明治年 手入町	實行 明治年 播種町	實行 明治年 新植町	實行 明治年 補植町	實行 明治年 手入町	實行 計 播種町	實行 計 新植町	實行 計 補植町	實行 計 手入町

第十四號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區

何々幹材(全木)形數表

明治何年何月

何官何某調製

段高	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				

國	市	町

第十五號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區

枝條百分率表

明治何年何月

何官何某調製

樹幹全長ニ對スル枝下ノ長サノ割合	樹幹材積ニ對スル枝材積ノ百分率 共樂 松	共樂 杉	共樂 何々	無樂 楢	無樂 櫟	無樂 何々
0.9						
0.8						
0.7						
0.6						
0.5						
0.4						
0.3						
0.2						

第十六號樣式

何大林區
何小林區
何々事業區

實積係數表

明治何年何月

何官何某調製

實積係數表 (々何種樹)

等級	係數 0.000	一棚ノ材積 尺〆	一個ノ生木重量 貫	備考

第 485 9 号 本文

式樣號七十

區林大何
方地々何

表獲收正法々何

月何年何治明

製調某何官何

林齡	積材	高均平	本數立木	林齡
位地等何				

○敍任及辭令

○明治三十二年九月八日

任陸軍少將　陸軍歩兵大佐從五位勳三等功四級　前田　隆禮
任陸軍少將　陸軍歩兵大佐從五位勳四等功四級　中村　覺
任陸軍少將　陸軍歩兵大佐從五位勳四等功四級　高木　作藏
任陸軍歩兵大佐　陸軍歩兵中佐從五位勳三等功四級　湯地　弘
任陸軍歩兵少佐　陸軍歩兵大尉從六位勳五等　中原　義信
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉從七位勳六等　河西　終藏
任陸軍歩兵中尉　陸軍歩兵一等軍曹　石田　治郎
任陸軍歩兵一等軍曹　陸軍歩兵中尉從七位勳六等　安治
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵大尉從六位勳五等　萩原　拳吉
任陸軍歩兵少佐　陸軍歩兵大尉從六位勳五等　松村定次郎
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉從七位勳六等　石田　安治
任陸軍歩兵中尉　陸軍歩兵一等軍曹　安治
任陸軍歩兵一等軍曹　陸軍歩兵中尉從七位勳六等　石田　安治
任陸軍歩兵中尉　陸軍歩兵大尉從六位勳五等　萩原　拳吉
任陸軍歩兵大尉　陸軍歩兵中尉從七位勳六等　松村定次郎

○陸海軍

○旗幟變更 本月六日常備艦隊司令長官議艦ヲ軍艦八島ニ變更セリ（海軍省）

○軍艦發著 軍艦扇耶ハ馬山浦ニ向ヒ釜山ヲ、同龍田ハ上海ニ向ヒ厦門ヲ一昨七日抜錨、同島海ハ同日佐世保抜錨、同千代田ハ昨八日品海ニ向ヒ横須賀ヲ抜錨セリ（海軍省）

○産業

○獸醫業停止 獸醫業ニ關スル不正ノ行爲アルヲ以テ明治二十三年法律第七十六號獸醫免許規則第八條ニ依リ埼玉縣北葛飾郡郡村平民獸醫帝島其貞ニ對シ十五日間獸醫業ヲ停止スル旨本月六日其管轄廳ニ通達セリ（農商務省）

○衛生

○赤痢患者 一昨七日中各地方ヨリ內務省衛生局ニ到達シタル赤痢患者數報告左ノ如シ（內務省）

道府縣	患者	死亡	道府縣	患者	死亡	道府縣	患者	死亡
北海道	一	三	靜岡	一八	九	岡山	一六	一
東京	一八	一七	山梨	一一	三	廣島	五八	三一
京都	四〇	九	滋賀	一三	一〇	山口	一〇	五
大阪	一一	六八	岐阜	一一	一〇	和歌山	三	二
神奈川	三七	二一	愛知	一一	一〇	鳥取	一一	一
兵庫	一一	八五	三重	一一	一〇	島根	一六	一
長崎	一一	五〇	奈良	一〇	三	合計	一五八	三三
新潟	一八	七	栃木	一〇	六			
埼玉	七	四	茨城	二	一			
群馬	一一	七	千葉	二	一			
福島	三	二	秋田	一一	一			
宮城	一一	七	山形	一一	一			
岩手	一一	七	青森	五	三			
高知	二	一	鹿兒島	一	一			
福岡	二	一	沖縄	一	一			
佐賀	一	一						
大分	一	一						
熊本	二	二						
宮崎	一	一						
鹿兒島	一六	一四						
沖縄	二	二						
合計	一五八	三三						

○觀象

○全國氣象 九月四日

氣壓（特ニ斷リナキカ）

氣溫（攝氏ヲ以テ前ニ記シ下ハ華氏ヲ以テ記シフ）

風

雨量

天氣

區別	測候所	氣壓	氣溫	風	雨量	天氣
一	函館	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	室蘭	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	寒地	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	根室	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	釧路	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	帯廣	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	札幌	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	小樽	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	寿都	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	山越	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	網走	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	紋別	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	名寄	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	稚内	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	留萌	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	浦河	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	江差	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	室蘭	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	苫小牧	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	白老	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	浦川	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	新冠	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	静内	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	三石	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	浦河	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	十勝	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	帯廣	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	大津	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	根室	午後六時	午後六時	午後六時 北西		午後六時 快晴
	釧路

官報　明治三十二年八月二十五日郵便物認可　明治三十二年九月九日　附圖　金九錢　定價金三錢
第三種郵便物認可　明治三十二年一月八日發行
編輯者　秋田縣平民　服井　廣司　發行者　秋田縣平民郡增田町百六十二番地秋田縣平民　東海林　六郎

官報

明治三十二年九月七日檢定

○競爭試驗

文部省

機械工學科及造船學科入學志望者ノタメ來月十三日ヨリ本學ニ於テ競爭試驗ヲ施行ス　但シ試驗課目及其日割左ノ如シ

明治三十二年九月

試驗課目及日割

十三日午前九時ヨリ正午十二時マテ　數學
同　日午後一時ヨリ同四時マテ　力學

東京帝國大學工科大學

英語　十四日午前九時ヨリ正午十二時マテ

○購買入札

第一號　器具器械一人用机外六十脚
第二號　器具器械一人用机外十脚
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金落札代價百分ノ十、入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル旨郡區長又ハ市町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札期日三日前當部ニ差出スヘシ

第三號　馬線器械鋏鑷器外八十脚

右購買ス入札望ノ者本月二十四日マテノ內午前十時ヨリ午後二時マテニ當部ニ就キ入札心得書案圖面及標本熟覽ノ上同二十五日午前十時限入札保證金ヲ添ヘ各番號每ニ入札スヘシ同十時三十分開札ス

此契約ハ軍馬補充部六原支部長代理同部員岡深雪擔任ス

明治三十二年九月九日　嚴手縣膽澤郡相志村　軍馬補充部六原支部

一大麥五十五石　同所納
一大豆　二十石

軍馬補充部銀冶谷禪支部納

一二條　三十五石　同所納

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
右購買ス供給望ノ者ハ本月二十三日マテニ軍馬補充部銀冶谷禪支部軍夷ノ許ニ出頭入札心得書、契約書案及標本熟覽ノ上同二十六日午前九時入札書ヲ該軍吏ニ差出スヘシ
此契約ハ仙臺陸軍糧餉部主管中村隆英擔任ス

明治三十二年九月九日　仙臺陸軍糧餉部

第一號　避雷器附百線用「ケーブルヘッド」「ケーブル」　三百箇
第二號　「二百八心入オコナイトケーブル」　三百碼
第三號　「オコナイト」線一銅ニ鐵合セルモノ　黑赤黃色ノ毛ヲ　五万碼
第四號　十八番二箇綿、オコナイト線　三万碼
第五號　軟綱線番二箇綿、オコナイト線　三万碼
第六號　銅一十線二箇綿、オコナイト線　三万碼
第七號　電話用杉丸太　二十四尺ヨリ五尺マテ　取突　七百五十本
第八號　同　二十五尺ヨリ五尺マテ　取突　四百二十本
第九號　同　二十五尺ヨリ四尺マテ　取突　七百五十本
第十號　同　二十五尺ヨリ四尺マテ　取突　四百九十本
第十一號　同　二十五尺ヨリ五尺マテ　取突　四百九十本
以上第一號ヨリ第五號マテハ本月二十五日開札
以上第六號ヨリ第十一號マテハ本月二十七日開札

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上

右購買ス仕樣書ノ者ハ開札前日マテニ當局會計課ニ於キ仕樣書、見本品、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上當日正午十二時限入札書差出スヘシ同日午後一時開札ス
此契約ハ東京電話交換局長工學博士五十嵐雄助擔任ス

明治三十二年九月九日　東京電話交換局

一二十番「ブレード」　一万碼
同「オコナイト」線　二千碼
一十八番巴撚實線　四万六千碼
一二十二番赤白實自　二万六千碼
名古屋納
名古屋、桑名、四日市分納

右購買ス入札望ノ者ハ本月二十一號ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス
當省令第二十一號ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス
右購買ス入札望ノ者ハ本月二十九日マテニ當局ニ就キ仕樣書、入札人心得及契約書案等熟覽ノ上同三十日午前十時限入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ名古屋電話交換局長和達陽太郎擔任ス

明治三十二年九月九日　名古屋電話交換局

○工事請負入札

岩手縣國道子島村字早稻田所在
一突通路　延長二千四百七「メートル」
入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、契約保證金請負金高百分ノ十、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル旨郡區長又ハ市町村長ノ證明書及人夫百名以上、石工十名以上ヲ三日以內ニ準備シ得ルノ確證アル者ニ限ル此證明書(證ハ本月二十三日マテニ當支部ニ差出スヘシ)

右請負望ノ者ハ本月二十三日(就業時間內)マテニ當支部ニ就キ入札心得書、契約書案仕樣書及圖面等熟覽シ同二十四、二十五兩日ノ內現場ニ到リ官吏立會實見ノ上同二十六日午前十時入札書ヲ當支部入札函ニ投スヘシ即時開札ス
此契約ハ築城部吳支部長石山三造擔任ス

明治三十二年九月十一日　廣島市新川場町　築城部吳支部

一横須賀造船廠造船材料倉庫物品檢査場新營工事　木造平家建家根波形鐵板葺建坪八十四坪　一棟
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、契約保證金落札高百分ノ十(錢以下切上ケ圓止トス)、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右請負望ノ者ハ本部建築科ニ就キ仕樣書、圖面、契約書案、工事請負心得書、入札人心得書及現場等熟覽ノ上本月二十五日午前十時限同科ニ入札スヘシ同十一時同科ニ於テ開札ス
此契約ハ横須賀鎮守府經理部長八洲亨擔任ス

明治三十二年九月九日　横須賀鎮守府經理部

○入札拂下

一第一號　第二種帽外四脚
一第二號　夏衣外十八脚
一第三號　第一種背嚢外三脚
一第四號　試製脚絆外二十脚
入札保證金各號共各自見積代價ノ百分ノ五以上
右實却ス入札望ノ者ハ本月十八日ヨリ同二十日マテノ內午前九時ヨリ午後三時マテニ歩兵第一旅團司令部構內歩兵第一聯隊被服倉庫ニ就キ現品及入札者心得書及契約書案熟覽ノ上同二十六日午前十時マテニ入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ歩兵第一聯隊被服委員首坐今井直治擔任ス

明治三十二年九月九日　歩兵第一聯隊

○附錄　今九日發刊廣告八頁

第4859号

付録

官報第四千八百五十九號附錄

明治三十二年九月九日

○廣告

○商業登記

株式會社東京農商銀行登記事項中左ノ如ク追加ス

一監査役ノ氏名住所

東京市本所區霜川町一町目十八番地　若林七五郎
北豐島郡南千住町大字千住南十六番地　荒井仁兵衛
同郡同町一番地　吉田利兵衛
東京市ニ發行スル二種以上ノ新聞紙ニ公告ス

右明治三十二年九月六日登記ス

東京區裁判所千住出張所

株式會社東京農商銀行千住支店登記事項中左ノ如ク追加ス

一監査役ノ氏名住所

東京市本所區霜川町一町目十八番地　若林七五郎
北豐島郡南千住町大字千住南十六番地　荒井仁兵衛
同郡同町一番地　吉田利兵衛
東京市ニ發行スル二種以上ノ新聞紙ニ公告ス

右明治三十二年九月六日登記

東京區裁判所千住出張所

帝國精糖株式會社ハ明治三十二年八月十五日清算結了ス

右明治三十二年九月六日株式會社登記簿第五十九號ノ登記ニ追加ス

東京區裁判所

東京建物株式會社支店登記事項中拂込株金額ヲ左ノ通變更ス

一拂込金額　各株式ニ附キ金二十五圓

右明治三十二年九月六日株式會社登記簿第四十七號ノ登記ヲ變更ス

横濱區裁判所

小田原電氣鐵道株式會社登記事項中左ノ通追加ス

一公告ヲ爲ス方法　神奈川縣下及東京市ニ於テ發刊スル三種以上ノ新聞紙ニ掲載ス

一監査役ノ氏名住所　神奈川縣横濱市本町四町目六十三番地若尾幾造　同縣足柄下郡小田原町十字一町目四十四番地寺西泰助

右明治三十二年九月六日株式會社登記簿第三號ニ登記

小田原區裁判所

株式會社伊勢原銀行ハ登記事項中左ノ通追加ス

一公告ヲ爲ス方法　店頭掲示若クハ地方新聞紙廣告ニ掲載ス

一監査役ノ氏名住所　中郡伊勢原町池端二百九十八番地　鎌目恒太郎
中郡大根村吉田百六十五番地　上野豐三
中郡城島村小鍋島二千三百七十一番地　足立留次郎

右明治三十二年九月五日登記

小田原區裁判所伊勢原出張所

甲府市三日町一番地株式會社有信貯金銀行株式會社有信貯金銀行

一本店　谷村支店　山梨縣同郡瑞穂村町九十八番戸

一支店　吉田出張所　同縣同郡都留郡谷村町五十番戸

一出張店　臺町出張店　同縣同市甲府市泉町二十二番戸

金手町出張店　同縣同市金手町二百七番戸

上府中出張店　同縣同市堅町十三番戸

所轄裁判所ノ公告スル新聞紙　山梨縣甲府市増穂村三百八十五番戸

右公告ヲ爲ス

明治三十二年九月四日登記

甲府區裁判所市川大門出張所

支配人選任登記

一支配人ノ氏名住所　靜岡縣庵原郡蒲原町蒲原二百四十九番地　志田喜作

二主人ノ氏名住所　同縣同郡同町同所四百七十番地　株式會社蒲原銀行

三主人ノ營業　銀行業

四支配人ノ用フヘキ商號　株式會社蒲原銀行

五支配人ヲ置キタル場所　靜岡縣庵原郡蒲原町蒲原四百四十番地

右明治三十二年九月四日登記ス

明治三十二年九月五日

靜岡區裁判所蒲原出張所

株式會社登記追加

株式會蒲原銀行登記事項中左ノ如ク追加ス

一會社ノ目的　代金取立地金銀賣買及爲替

一會社カ公告ヲ爲ス方法　所轄登記所ノ公示スル新聞紙ヲ以テ公告ス

一監査役ノ氏名住所　靜岡縣庵原郡蒲原町蒲原二百九十番地　高柳政次郎
同縣同郡同町神澤二番地　志田德治

右明治三十二年九月四日登記ス

明治三十二年九月四日

靜岡區裁判所蒲原出張所

株式會社登記追加

熱海電燈株式會社登記事項中左ノ如ク追加ス

一公告ヲ爲ス方法　所轄登記所ノ公告スル新聞紙ニ掲載ス

一監査役ノ氏名住所　靜岡縣田方郡熱海町熱海三百三十六番地　野村正左衛門
同縣同郡同町同所三百五十二番地　野田憲八
神奈川縣足柄下郡湯本村湯本十番地　矢野門右衛門

右明治三十二年九月四日登記ス

明治三十二年九月四日

沼津區裁判所熱海出張所

株式會社登記追加

株式會社金谷共榮銀行登記事項中左ノ如ク追加ス

一公告ヲ爲ス方法　所轄登記所ノ公告スル新聞紙ヲ以テ公告ス

一監査役ノ氏名住所　靜岡縣榛原郡金谷町金谷河原六十七番地　塚本市右衛門
同縣同郡同町金谷三百二十三番地　村松文平

右明治三十二年九月五日登記ス

明治三十二年九月五日

掛川區裁判所金谷出張所

株式會社登記第一號　明治三十二年九月四日

一商號　株式會社六十三銀行本店出張所

一本店　長野縣東筑摩郡稲荷山町三百六十七番地

一支店　長野縣長野市西後町六十六番地

長野支店　同縣埴科郡松代町三十四番地

松代支店　同縣東筑郡中津村二百十六番地

中津支店　同縣上水内郡水内村大字新町四百十八番地

新町支店

付録
第 4859 号
付録

廣綱支店
小島支店
布施出張所
傘禮出張所
一目
設立ノ年月日
一資本ノ總額
一株ノ金額
各株ニ附キ拂込ミタル株金額
公告ヲ爲ス方法
取締役ノ氏名住所

同縣東筑摩郡麻績村三百二番地
同縣道科郡大字小島三百七番地
同縣更級郡布施村三百十四番地
同縣上水内郡中郷村大字峯樋二百六十番地
銀行專業及貯蓄銀行事業
明治三十二年八月二十四日
金五十万圓
株式會社登記第一號　明治三十二年九月五日登記
株式會社六十三組行新町支店登記事項中左ノ如ク追加ス
一本店及他ノ支店出張所所在地
株式會社六十三組行新町支店
長野縣長野市西四後町六十六番地
同縣更級郡稲荷山町三百六十七番地
同縣更級郡中津村二百十一番地
同縣更級郡松代町百十六番地
同縣更級郡稲荷山町百十六番地
同縣更級郡中津村二百十六番地
同縣更級郡布施村三百二番地
同縣長野市西四後町百十六番地
同縣更級郡布施村三百七番地
同縣長野市西四後町百十六番地
同縣更級郡布施村三百十四番地
長野縣更級郡稲荷山町三百番地
同縣同郡稲荷山町百十六番地
同縣同郡稲荷山町百十六番地
同縣下高井郡平野村二十九番地
東京市東橋區南新堀町一町目四番地
長野縣中郷村二百五十番地
同縣同郡稲荷山町三百番地
一監査役ノ氏名住所
長野縣更級郡中津村二百十一番地　小島八郎右衛門
同縣同郡稲荷山町百十六番地　山田莊左衛門
同縣下高井郡平野村二十九番地　中澤彦吉
東京市東橋區南新堀町一町目四番地　和田郁平
長野縣中郷村二百五十番地　田中清左衛門
同縣同郡稲荷山町三百番地
一監査役ノ氏名住所
長野縣更級郡榮村百四十八番地　柳澤文治郎
長野縣同郡川柳村二百四十四番地　田中忠右衛門
明治三十二年八月二十四日ヨリ明治五十年六月三十日マテ
一存立ノ時期
右公告ス
明治三十二年九月四日　長野區裁判所牟禮出張所

株式會社登記第八號　明治三十二年九月四日登記
株式會社上田支店登記事項中左ノ如ク追加ス
一本店
一支店
上野國山田郡毛田村大字貝上村百四十八番地
長野區裁判所新町出張所
右公告ス
明治三十二年九月五日

株式會社登記第八號　明治三十二年九月四日登記
株式會社上田支店登記事項中左ノ如ク追加ス
一本店
一支店
上野國山田郡毛田村大字貝上村百四十八番地
長野區裁判所新町出張所
右公告ス
明治三十二年九月五日

株式會社登記第三號　明治三十二年九月四日登記
株式會社永線銀行登記事項中左ノ如ク變更及追加ス
一目的
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

株式會社登記第三號　明治三十二年九月四日登記
株式會社永線銀行登記事項中左ノ如ク變更及追加ス
一目的
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

取締役副頭取
取締役
地方廳ノ公布式アル新聞紙ノ一ニ掲載ス
竹田　齊一
久保田外治
尾崎守太郎
上田區裁判所

支配人登記
一支配人ノ氏名住所
一主人ノ氏名住所
一主人ノ營業
一支配人ノ住所
一支配人ヲ置キタル場所
右明治三十二年九月二日登記
新聞紙及店前ニ掲示ス
京都府興謝郡市場村字四辻百三十七番戸
株式會社丹後銀行
京都府興謝郡市場村字四辻百三十七番戸
宮津區裁判所加悅出張所

株式會社登記第四號　明治三十二年九月五日登記
株式會社夏
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

株式會社登記第四號　明治三十二年九月五日登記
株式會社夏
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

取締役副頭取
取締役
地方廳ノ公布式アル新聞紙ノ一ニ掲載ス
山田　齊一
久保田外治
尾崎守太郎
上田區裁判所

支配人登記
一支配人ノ氏名住所
一主人ノ氏名住所
一主人ノ營業
一支配人ノ住所
一支配人ヲ置キタル場所
右明治三十二年九月二日登記
新聞紙及店前ニ掲示ス
京都府興謝郡市場村字四辻百三十七番戸
株式會社丹後銀行
京都府興謝郡市場村字四辻百三十七番戸
宮津區裁判所加悅出張所

商業登記追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右明治三十二年九月五日登記
監査役
監査役
宮津區裁判所加悅出張所

株式會社登記第五號　明治三十二年九月五日登記
株式會社夏
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

株式會社登記第五號　明治三十二年九月五日登記
株式會社夏
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

取締役副頭取
取締役
地方廳ノ公布式アル新聞紙ノ一ニ掲載ス
竹田　齊一
久保田外治
尾崎守太郎
上田區裁判所

支配人登記
一支配人ノ氏名住所
一主人ノ氏名住所
一主人ノ營業
一支配人ノ住所
一支配人ヲ置キタル場所
右明治三十二年九月二日登記
新聞紙及店前ニ掲示ス
京都府興謝郡三河内村八十一番戸
京都府興謝郡市場村字四辻二十九番戸
株式會社丹後銀行
京都府興謝郡市場村字四辻百三十七番戸
宮津區裁判所加悅出張所

商業登記追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右明治三十二年九月五日登記
監査役
監査役
宮津區裁判所加悅出張所

株式會社登記第六號　明治三十二年九月五日登記
株式會社永線銀行登記事項中左ノ如ク變更及追加ス
一目的
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

株式會社登記第六號　明治三十二年九月五日登記
株式會社永線銀行登記事項中左ノ如ク變更及追加ス
一目的
變更
變更登記
追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右公告ス
明治三十二年九月四日

取締役副頭取
取締役
地方廳ノ公布式アル新聞紙ノ一ニ掲載ス
竹田　齊一
久保田外治
尾崎守太郎
上田區裁判所

支配人登記
一支配人ノ氏名住所
一主人ノ氏名住所
一主人ノ營業
一支配人ノ住所
一支配人ヲ置キタル場所
右明治三十二年九月二日登記
新聞紙及店前ニ掲示ス
京都府興謝郡市場村字四辻百三十七番戸
株式會社丹後銀行
京都府興謝郡市場村字四辻百三十七番戸
宮津區裁判所加悅出張所

商業登記追加
一公告ノ方法
一監査役ノ氏名住所
右明治三十二年九月五日登記
監査役
監査役
宮津區裁判所加悅出張所

一監査役氏名住所
一廣島市字橋町
一公告ノ方法
大阪毒物製造株式會社
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
大阪市東區高麗橋四町目
株式會社大阪銀行
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
一支店
長野縣長野市
長野區裁判所
一監査役氏名住所
大阪市東區北濱四丁目
株式會社大阪銀行
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
一本店
一支店
松代支店
中津支店
小島出張所
布施出張所
一公告ヲ爲ス方法
一監査役ノ氏名住所
宿公告ス
明治三十二年九月五日

一監査役氏名住所
一廣島市字橋町
一公告ノ方法
大阪毒物製造株式會社
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
大阪市東區高麗橋四町目
株式會社大阪銀行
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
一本店
一支店
長野縣長野市西四後町六十六番地
同縣更級郡稲荷山町三百六十七番地
同縣更級郡中津村二百十一番地
同縣更級郡松代町百十六番地
同縣更級郡稲荷山町百十六番地
同縣更級郡中津村二百十六番地
同縣更級郡布施村三百二番地
同縣長野市西四後町百十六番地
同縣更級郡布施村三百七番地
同縣長野市西四後町百十六番地
同縣更級郡布施村三百十四番地
長野縣更級郡稲荷山町三百番地
同縣同郡稲荷山町百十六番地
同縣同郡稲荷山町百十六番地
同縣下高井郡平野村二十九番地
東京市東橋區南新堀町一町目四番地
長野縣中郷村二百五十番地
同縣同郡稲荷山町三百番地
一監査役ノ氏名住所
長野縣更級郡榮村百四十八番地　小島八郎右衛門
同縣同郡稲荷山町百十六番地　山田莊左衛門
同縣下高井郡平野村二十九番地　中澤彦吉
東京市東橋區南新堀町一町目四番地　和田郁平
長野縣中郷村二百五十番地　田中清左衛門
同縣同郡稲荷山町三百番地
一監査役ノ氏名住所
長野縣更級郡榮村百四十八番地　柳澤文治郎
長野縣同郡川柳村二百四十四番地　田中忠右衛門
明治三十二年八月二十四日ヨリ明治五十年六月三十日マテ
一存立ノ時期
右公告ス
明治三十二年九月四日　長野區裁判所牟禮出張所

株式會社登記第八號　明治三十二年九月四日登記
株式會社上田支店登記事項中左ノ如ク追加ス
一本店
一支店
上野國山田郡毛田村大字貝上村百四十八番地
長野區裁判所新町出張所
右公告ス
明治三十二年九月五日

株式會社登記第八號　明治三十二年九月四日登記
株式會社上田支店登記事項中左ノ如ク追加ス
一本店
一支店
上野國山田郡毛田村大字貝上村百四十八番地
長野區裁判所新町出張所
右公告ス
明治三十二年九月五日

一監査役氏名住所
一廣島市字橋町
一公告ノ方法
大阪毒物製造株式會社
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
大阪市東區平野町四四町目
同市東區平野町四四町目
一支店
京都市上京區烏丸通姉小路上ル虎屋町
綾後市市大町五町目
神戸市兵庫區平野町五町目
新潟市大川前通八番町
名古屋市伝馬島町三町目
四日市市大字濱町
一公告ノ方法
東京東京橋區北富藏町
須藤時一郎
金八万九千圓
一社債ノ金額
各社債ノ總額
一金五十圓券千九百圓
一金百圓券三万九千六百圓
一社債ノ利率
一金五十圓券ニ對スル分八朱利付
一金百圓券ニ對スル分　八朱利付三万七千百
一社債償還ノ方法及期限
期限年限中其都度償還ス金額ヲ定メ抽籤ノ方法ニ依リ償還ス其償還期限ハ明治三十九年末ニス
本支店所轄登記所ノ公示スル新聞紙ヲ以テ公告スヘシ
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
京都府紺伊郡伏見町枡形町
同府同郡同町字帶刀
本コータス株式會社
取締役
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
日本瓦斯噴霧合資會社
一社員
一金六千五百圓
一營業所
一營業所
一監査役氏名住所
一廣島市字橋町
一公告ノ方法
大阪毒物製造株式會社
一公告ノ方法
一監査役氏名住所
大阪市東區平野町四四町目
同市東區平野町四四町目
一支店
京都市上京區烏丸通姉小路上ル虎屋町
綾後市市大町五町目
神戸市兵庫區平野町五町目
新潟市大川前通八番町
名古屋市伝馬島町三町目
四日市市大字濱町
一公告ノ方法
東京東京橋區北富藏町
須藤時一郎
金八万九千圓
一社債ノ金額
各社債ノ總額
一金五十圓券千九百圓
一金百圓券三万九千六百圓
一社債ノ利率
一金五十圓券ニ對スル分八朱利付
一金百圓券ニ對スル分　八朱利付三万七千百
一社債償還ノ方法及期限
期限年限中其都度償還ス金額ヲ定メ抽籤ノ方法ニ依リ償還ス其償還期限ハ明治三十九年末ニス
本支店所轄登記所ノ公示スル新聞紙ヲ以テ公告スヘシ
一公告ノ方法
大阪毒物製造株式會社

河郡鉄伏村四十番地同國同郡浦河村二十八番地同國三石郡鳥舞村第百號　監査役ノ氏名住所大阪府大阪市東區角久寶寺町四丁七七番屋敷百原久之助兵庫縣神戸市元町通五丁目百二十六番屋敷丹波國桑田郡篠村字長四郎同市榮町通六町目四十七番屋敷武田真吉京都府京都市下京區四條通小橋橋本町十六番地株式會社神戸貯蓄銀行本店取締役渡邊徹ハ其住所ヲ兵庫縣武庫郡御影町ノ内御影町八百十三番地株式會社本店ハ明治三十二年八月二十四日株主臨時總會ノ決議ニ因リ會社ノ登記番號第百六號　工業用品鐵道用品船具ノ販賣ヲ公告ノ目的ニ變更シ其條件左ノ如シ　第一條　本會社ハ株式會社ノ代理店ト爲リ物品販賣業ノ代辯ヲ爲スコト　第二條　本會社ハ保險業ノ代辯ヲ爲スコト　但會社ノ代理店ト爲リ物品販賣業ノ代辯ヲ爲スコト　第三條　本會社ハ鐵道

株式會社登記

一商號　廣運株式會社
一本店　神奈川縣鶴見區字西十二番地
一目的　運送業
一設立ノ年月日　明治三十二年八月十五日
一資本ノ總額　金七万五千圓
一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ附キ拂込ミタル株金額　金五十圓
一公告ヲ爲ス方法　所轄登記所ノ公示スル新聞紙ニ掲載スルモノトス
一取締役ノ氏名住所
一監査役ノ氏名住所
一存立ノ時期
右明治三十二年八月二十八日登記ス
右公告ス　明治三十二年八月二十九日　那覇區裁判所

株式會社第五十九銀行聯ケ濱支店追加登記

一本店所在地　青森縣青森市大字大町百五十六番戶
一他ノ支店　青森縣南津軽郡黒石町大字町百二十八番戶
同縣北津軽郡五所川原町百十一番戶
同縣下北郡名部町二百十一番戶
所轄登記所ノ公示スル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス
青森縣弘前市大字代官町八十七番戶
同縣同市大字和徳町八十六番戶
右明治三十二年八月三十一日登記濟ニ附キ公告ス　明治三十二年九月二日　山形豐五郎　佐藤愚正

隱ケ澤區裁判所

一公告ヲ爲ス方法
一監査役ノ氏名住所
名古屋市西魚町一町目六十三番戶　名古屋乾物株式會社登記事項左ノ通追加ス
名古屋市ニ於テ發行スル日刊新聞ノ一種ニ登載シテ之ヲ爲ス
明治三十二年九月二日登記　山田順三郎　桑川彌兵衛
右公告ス　同市江川町百十五番戶

名古屋區裁判所

一公告ヲ爲ス方法
一監査役ノ氏名住所
名古屋市伊勢切町百七十七番戶
明治三十二年九月二日登記　河邑　新晴　竹田鍬太郎
右公告ス

名古屋區裁判所枇杷島出張所

一公告ヲ爲ス方法
一監査役ノ氏名住所
尾張國西春日井郡清洲町五百十三番戶　西春日井郡清洲町三百三十七番戶
同郡同町五十八番戶
明治三十二年九月二日登記
右公告ス　明治三十二年九月二日

名古屋區裁判所

一公告ヲ爲ス方法
一監査役ノ氏名住所
愛知縣愛知郡熱田町大字市場五十四番戶　愛知縣愛知農商銀行登記事項中左ノ通追加ス
一支店及出張店所在地　愛知縣愛知郡熱田町甲二百六十六番戶　株式會社愛知農商銀行刈谷支店
愛知縣西加茂郡三好村大字三好百八十二番戶　株式會社愛知農商銀行三好出張店

一監査役ノ住所、氏名
一公告ヲ爲ス方法
明治三十二年八月二十九日登記
右公告ス　明治三十二年八月二十九日　名古屋區裁判所熱田出張所

商號登記

一商號　四藥商店
一營業ノ種類　櫨草製造營業
一營業所　愛知縣愛知郡白山村大字米野木七十七番戶
一商號使用者ノ氏名住所　武田彦三郎
同縣同郡同村同大字七十七番戶
明治三十二年九月二日登記
右公告ス　明治三十二年九月二日　名古屋區裁判所廣路出張所

知多郡野間村大字野間乙二百六十一番戶株式會社知多貯蓄銀行登記事項中左ノ通變更及追加ス

一會社ノ目的　變更事項
一會社存立ノ時期　追加事項
一支店
貯蓄預金諸預金及貸付手形賓買及取立ノ業務ノ爲ノ有價證券及地金銀ノ賓買
明治二十九年二月二十二日ヨリ滿三十箇年
愛知縣知多郡內海町六百四十二番戶　株式會社知多貯蓄銀行內海支店
同縣同郡豐濱村三百十二番戶　株式會社知多貯蓄銀行豐濱支店
同縣同郡河和村大字河和二百七番戶　株式會社知多貯蓄銀行河和支店
同縣同郡坂井村六十六番戶　株式會社知多貯蓄銀行坂井支店
所轄登記所ノ公告スル新聞紙ニ掲載ス
愛知縣知多郡野間村大字野間四百三十六番戶　夏目　喜七
同縣同郡河和村大字河和六百十九番戶　岩本朝左衛門
同縣同郡內海町六百四十六番戶　大岩善七郎
右公告ス　明治三十二年八月三十一日　半田區裁判所內海出張所

株式會社東美銀行金山支店登記事項中左ノ通追加及變更ヲ爲シタリ

一本店　株式會社東美銀行
一支店　同　多治見支店
同縣土岐郡多治見町千三百十一番戶ノ二　同　今渡支店
同縣可兒郡今渡町今渡六十六番戶　同　下廣生支店
同縣加茂郡下廣生町七番戶　同　中津川支店
同縣恵那郡中津町中津川四百四十六番戶　同　坂下出張店
同縣恵那郡坂下町四十番戶
所轄登記所ノ公示スル新聞紙ニ掲載ス
岐阜縣可兒郡廣見村伊奈百十番戶　堀江源三郎
同縣墨那郡袋山町百五十番戶　高木源兵衛
同縣墨那郡中津町中津川三百百十三番戶　開　健郎
同縣土岐郡多治見町百四百四十五番戶　西浦達太郎
同縣加茂郡古井村上古井五十一番戶　大細市太郎
同縣可兒郡今渡町今渡九十三番戶　丹羽　仙治
同縣恵那郡中津町中津川五百四十九番戶　勝野七兵衛

一株式會社東美銀行多治見支店明治三十二年八月二十七日岐阜縣土岐郡多治見町千三百二番戶ヘ移轉スル登記ノ年月日　明治三十二年九月四日　岐阜區裁判所神淵出張所

商業登記追加

一公告ヲ爲ス方法
美濃國安八郡大垣町大字東船三番戶　三輪徳次郎
一監査役ノ住所、氏名
同國同郡同町大字高須町百八十七番戶　水谷定太郎
同國同郡同町大字三郷十三番戶　早川角藏造
同國安八郡大垣町大字竹島九十一番戶　田中清兵衛
同國海津郡高須町大字馬目三十二番戶　伊藤長左衛門
同國同郡東江村大字立野十番戶　加藤金太夫

右公告ス　明治三十二年九月二日　大垣區裁判所高須出張所

商業登記追加

一公告ヲ爲ス方法
岐阜縣海津郡高須町大字高須町四十番戶株式會社七十六銀行登記事項左ノ通追加ス
一監査役ノ住所、氏名
本支店所在地營業登記所ノ公示スル新聞紙ニ登載ス
岐阜縣海津郡高須町大字高須町百三十六番戶　近藤　公平
同縣同郡同町大字高須町四百三十二番戶　横井　吉命　三宅　重知
同縣同郡同町大字高須町六百十九番戶

右公告ス　明治三十二年九月二日　大垣區裁判所高須出張所

一支配人ノ氏名住所
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷
同縣同郡同町大字片町三十五番屋敷
株式會社桑名貯蓄銀行
貯蓄銀行業
株式會社桑名貯蓄銀行本店
一支配人ノ氏名住所
三重縣桑名郡桑名町大字片町三十五番屋敷
三重縣桑名郡桑名町大字一色町十二番屋敷
同縣同郡同町大字片町三十五番屋敷
株式會社百二十二銀行
一主人ノ氏名住所
株式會社百二十二銀行本店
一支配人ノ氏名住所
三重縣桑名郡桑名町大字片町三十五番屋敷
一支配人ノ用フヘキ商號
株式會社百二十二銀行
一支配人ノ區キタル場所
右明治三十二年九月四日登記ス　明治三十二年九月四日　森田　諒平
同縣同郡同町大字片町三十五番屋敷
株式會社百二十二銀行
三重縣桑名郡桑名町大字片町三十五番屋敷

右公告ス　明治三十二年九月四日　四日市區裁判所桑名出張所

北勢勤農株式會社登記事項中左ノ通變更及追加ス
一北勢勤農株式會社大田山分業場ヲ廢止ス
一營業所ヲ三重縣桑名郡次山田村大字東汐止四十七番屋敷ニ移轉ス
一取締役金森榮一郎辭任ニ付左ノ者ヲ選任ス　取締役　小川米太郎
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷
三重縣桑名郡桑名町大字一色町十二番屋敷
右公告ス　明治三十二年九月四日登記ス　小川米太郎
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷
一公告ヲ爲ス方法
一監査役ノ氏名住所
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷
株式會社七十六銀行香取支店登記事項中左ノ通追加ス
一本店　株式會社七十六銀行香取支店
一監査役ノ氏名住所
岐阜縣海津郡高須町大字高須町四十番戶
一公告ヲ爲ス方法
本支店所在地營業登記所ノ公示スル新聞紙ニ登載ス
一取締役金森榮一郎辭任ニ付左ノ者ヲ選任ス　取締役　小川米太郎
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷
右公告ス　明治三十二年九月四日登記ス　四日市區裁判所桑名出張所

一株式會社東美銀行多治見支店明治三十二年八月二十七日岐阜縣土岐郡多治見町千三百二番戶ヘ移轉スル登記ノ年月日　明治三十二年九月四日　岐阜區裁判所神淵出張所

商業登記追加

一公告ヲ爲ス方法
美濃國安八郡大垣町大字東船三番戶
一監査役ノ住所、氏名
同國同郡同町大字高須町百八十七番戶
同國同郡同町大字三郷十三番戶
同國安八郡大垣町大字竹島九十一番戶
同國海津郡高須町大字馬目三十二番戶
同國同郡東江村大字立野十番戶

右公告ス　明治三十二年九月二日　大垣區裁判所高須出張所

商業登記追加

一公告ヲ爲ス方法
岐阜縣海津郡高須町大字高須町四十番戶株式會社七十六銀行登記事項左ノ通追加ス
一監査役ノ住所、氏名
本支店所在地營業登記所ノ公示スル新聞紙ニ登載ス
岐阜縣海津郡高須町大字高須町百三十六番戶
同縣同郡同町大字高須町四百三十二番戶
同縣同郡同町大字高須町六百十九番戶

右公告ス　明治三十二年九月二日　大垣區裁判所高須出張所

一支配人ノ氏名住所
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷
同縣同郡同町大字片町三十五番屋敷
株式會社桑名貯蓄銀行
貯蓄銀行業
株式會社桑名貯蓄銀行本店
一支配人ノ氏名住所
三重縣桑名郡桑名町大字片町三十五番屋敷
三重縣桑名郡桑名町大字一色町十二番屋敷
同縣同郡同町大字片町三十五番屋敷
株式會社百二十二銀行
一主人ノ氏名住所
株式會社百二十二銀行本店
一支配人ノ氏名住所
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷
一支配人ノ區キタル場所
右明治三十二年九月四日登記ス　明治三十二年九月四日　森田　諒平
同縣同郡同町大字片町三十五番屋敷
株式會社百二十二銀行
三重縣桑名郡桑名町大字鍋屋町二十番屋敷

右公告ス　明治三十二年九月四日　四日市區裁判所桑名出張所

一株式會社東美銀行金山

一監査役ノ氏名、住所　山口縣長門國赤間關市大字西端第三十番屋敷伊藤房次郎、山口縣周防國吉敷郡佐山村第二百九十番屋敷鈴木幹夫、山口縣周防國佐波郡三田尻村第六百九十番屋敷氏家根介

右明治三十二年九月二日登記ス

明治三十二年九月二日　山口區裁判所

長門無煙炭鑛株式會社支店登記事項中左ノ通追加ス

一公告ヲ爲ス方法　本社所在地ノ時事新報中外商業新報其他ノ新聞紙ヲ以テ公告ス

一監査役ノ氏名、住所　東京市京橋區南新廓町一町目四番地　中澤彦吉
同市芝區高輪北町五十二番地　小林雄知
同市本郷區駒込追分町三百六十六番地　尾越悌輔

右明治三十二年八月三十日登記

右公告ス

明治三十二年八月三十日　山口區裁判所伊佐出張所

株式會社登記簿第一冊第一號

商號木次水蒸株式會社　本店出雲國大原郡木次町四百十三番地內一目的海產物委托販賣　設立ノ年月日明治三十二年八月二十日　資本總額一千二百圓　一株ノ金額金五十圓　各株ニ附キ拂込ミタル株金額金十二圓五十錢　公告ヲ爲ス方法地方發兌ノ新聞紙及其他ノ方法ヲ以テス　取締役ノ氏名、住所出雲國大原郡木次町四百十九番地內四長谷川久次郎、同所四百十九番地小林久助同所四百九番地內一小林助七、同所四百番地內四長谷川久次郎、同所四百二十一番地小林久助同所四百二十一番地內一小林助七、同百十四番地原幾助同所四百四十七番地岩佐太郎同所百五十九番地藤原友吉、同所百九十六番地角井藤太郎同所八十五番地內一藤原長次郎　存立時期滿二十箇年

明治三十二年九月二日　木次區裁判所

株式會社松山貯蓄銀行登記事項中左ノ通追加セリ

一公告ヲ爲ス方法所轄登記所ノ公示スル新聞紙ニ登載ス　監査役ノ住所、氏名愛媛縣松山市大字末廣町二町目九番戸藤岡勘三郎、同縣同市大字松前町三町目八番戸梁田幸次郎

右明治三十二年八月二十九日登記

伊豫鐵道株式會社登記事項中左ノ通變更セリ

一新株二千二百株ハ各株第三回拂込金十二圓五十錢ノ拂込ヲ了セシニ依リ拂込金額三十七圓五十錢ト變更ス

右明治三十二年八月二十九日登記　松山區裁判所

株式會社五十二銀行登記事項中左ノ通追加セリ

監査役ノ住所、氏名松山市大字三番町三十二番戸岸重徳、温泉郡道後村大字正圓寺三十二番戸石原操　公告ヲ爲ス方法所轄登記所ノ公示スル新聞紙トス但シ新聞紙發行ナキトキハ店頭ニ公告ス

右明治三十二年八月三十一日登記ス　松山區裁判所

株式會社登記追加

伊豫郡郡中町大字湯町七十七番戸株式會社第七十九銀行郡中支店登記事項中左ノ通追加ス

一監査役氏名、住所　石川縣江沼郡橋立村大字橋立ヲ九十八番地增田又七郎、同縣同郡國越村大字國越八十七番地角谷甚太郎、京都府京都市下京區新町通五條下ル銭子町十四番戸竹村彌兵衛、大阪府大阪市西區靭中通二町目六十番屋敷片山和助

本店又ハ支店ノ所轄登記所カ公示スル新聞紙ニ登載スヘシ

一會社カ公告ヲ爲ス方法　株式會社第七十九銀行

一本店所在地　大阪府大阪市東區本町二町目

一他ノ支店所在地　六十一番屋敷

兵庫縣大島郡金久村二百四十七番戸　株式會社第七十九銀行大島支店

香川縣仲多度郡吉田村大字上吉田ト百二十番戸香川縣仲多度郡榎井村五百二十四番戸　株式會社第七十九銀行琴平支店

株式會社第七十九銀行善通寺支店

株式會社第七十九銀行琴平支店

右明治三十二年九月二日登記ス

支配人選任登記

一支配人ノ氏名、住所　周桑郡福岡村大字福成寺甲九十四番地　芥川錦太郎

一主人ノ氏名、住所　周桑郡福岡村大字丹原二百三十七番地　株式會社伊豫周桑銀行

一主人ノ營業　普通銀行業

一支配人ノ用フヘキ商號　株式會社伊豫周桑銀行

一支配人ノ置キタル場所　周桑郡福岡村大字丹原二百三十七番地

右明治三十二年九月二日登記公告ス　西條區裁判所丹原出張所

愛媛縣周桑郡福岡村大字丹原二百三十七番地株式會社伊豫周桑銀行登記事項中左ノ通追加變更セリ

一支店所在地　周桑郡壬生川村大字壬生川四十四番地

一拂込金額　三万八千圓

一各株ノ拂込金額　十九圓

一取締役住所、氏名　周桑郡福岡村大字今井百五十五番地　今井義一衛

同郡三芳村千百十二番地第一　杉甚三郎

同郡田野村大字長野千六百五十八番地　篠原鶴太郎

同郡石根村大字大頭九十一番地　渡邊巍

同郡多賀村大字北條三百七十三番地　墨田廣治

周桑郡三芳村千百三十一番地　杉雄次郎

同郡中川村大字來見七百十八番地　越智茂登太

同郡庄內村大字且之上甲六百九十九番地　青野岩平

一監査役住所、氏名

一公告ヲ爲スヘキ方法　所轄登記所ニ於テ公告スル新聞紙ヲ以テス

右明治三十二年九月二日登記公告ス　西條區裁判所丹原出張所

○準禁治產宣告

一取締役今井義一衛ヲ頭取トス

富山縣東礪波郡柳瀬村大字東開發村戸主平民農　喜田彌一郎

右ノ者ニ對シ貯蓄並出ヒ〳〵ノ申立ニ依リ浪費者ト認メ本日準禁治產者ト宣告セリ

明治三十二年九月四日　杉木新區裁判所　判事　横尾則義

○失踪宣告

廣島縣二戸郡斗米村大字上斗米百五十九番戸平民農　不在者　文久三年一月十七日生

右ノ者ニ對シ長男工藤勇次郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治三十二年九月五日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治三十二年九月六日　福岡區裁判所　判事　高橋伊三郎

廣島縣二戸郡濱打村大字島越七十番戸平民農業　不在者　明治二年八月二十七日生

右ノ者ニ對シ利害關係人柴田彦野ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治三十二年九月五日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治三十二年九月六日　福岡區裁判所　判事　高橋伊三郎

正誤

一

去月三日官報附錄七頁上段末行、八幡、破皇地方管內區裁判所」ノ十二字ハ前行ノ下ニ入ルヘキノ誤植

付錄

第4859号